

3月定例会 一般質問

新風会 吉田康弘

新風会の吉田です。3月定例会は平成24年度予算の説明を受けての本会議でありますので、予算執行における定住促進政策の方向性をお尋ねしたいと思います。

まず、第6次小矢部市総合計画で目標とした人口は33,000人でしたが、今や32,000人を下回っております。さらに昨年1年間に小矢部市で生まれた子供の人数は174人でした。この状況をあらかじめ想定していたかのように、小矢部市は昨年2月に「小矢部市立保育所の適正配置及び民営化等について」答申を受けています。1年経過したのですが、小矢部市としての検討結果をお尋ねします。

答弁者 民生部長

これほどまでに人口の自然減が進むのは、想定を超えていると思うのですが、各部の人口減少防止対策、人口増対策を順に確認しておきたい。

答弁者 民生部長
産業建設部長
総務部長

これ以上小矢部市の人口が減らないように、総合的に対策を講じるのは企画政策室かと思うのですが、これまでの定住促進政策の成果を含め、人口減少防止対策について答弁いただきたい。

答弁者 企画室長

かねてから、定住促進と子育て支援は一体化してPRすることが大切と申し上げてきたのですが、今回の予算には「定住促進と子育て支援の一体化」となった政策展開が見えてこないことを残念に思います。「子育てするなら小矢部市に住む」「小矢部市でなら、二人目が生まれても共稼ぎをしながら子育てができる」「小矢部市でなら小学校に上がっても安心だ」といえるような、子育て支援とパッケージになった定住促進助成を目指していただきたい。

ターゲットは新婚夫婦です。新婚夫婦がいきなり住宅を新築するのは稀なことでありましょうから、新婚夫婦を対象とした家賃助成を充実させることを提案します。

そして同時に分かりやすい子育て支援策が必要です。

共稼ぎの若夫婦は、保育所に子供が二人通うと、母親の収入は保育料になってしまう。子育てに奮闘する若夫婦を力強く応援する小矢部市を目指してみてもはどうでしょうか。具体的に検討していただくための仮定ですが、転入世帯であることの有無を問わず、子供が二人同時に保育所に通う時には、二人目の保育料を無料にする場合の財源はどのくらいでしょうか。

答弁者 民生部長

新婚家庭の家賃助成 20,000 円を 3 年間くらいに延長し、「子育て支援日本一のまち小矢部市」を目指してみてもはどうでしょうか。費用はどれくらいかかるでしょうか？

答弁者 企画室長

産まれる子供が少ないことを逆手にとって、隣の市にはまねのできない小矢部市独自の「定住促進型子育て支援策」を全庁的に検討して、第 6 次総合計画に謳い上げた目標に少しでも近づける、不断の努力をお願いしたいと考えております。

質問の締めくくりにしたいと思いますので、副市長の所見をお願いします。

答弁者 副市長

再質問の予定あり